

## しんまちだよりネットワーク版

## 新町・栄町の自治会活動

新町・栄町の  
自治会世帯数 (R4年6月現在)

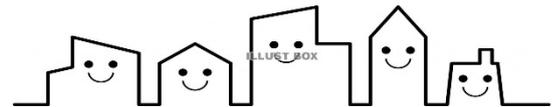
100世帯以上	7自治会
50~99世帯	15自治会
49世帯以下	54自治会

## ☆6月実施の自治会長さんへのアンケート報告

新町・栄町には76の自治会があります。

5つの自治会が休会となっています。自治会の世帯数は右図のとおり50世帯に満たない小さな自治会が約7割、そのうち20世帯以下は22自治会となっています。小さな自治会で構成されていることがこのエリアの特徴です。

## ☆アンケートの回答まとめ(抜粋)



アンケートの主な回答です。コロナ禍前より、「高齢者が自治会から抜け、活動が維持できない」「回覧板以外の活動がない」など自治会活動の停滞が課題とされていましたが、コロナ禍で

さらに活動が停滞した様子がうかがえます。今年に入りコロナ感染者が減りやっと収束という雰囲気の前、7月に入り感染者が急激に増えました。出口が見えず近隣との付き合い、地域活動をどうしていくかを悩んでいる方が多くいます。

自治会活動の課題は、「自治会長の任期が1年間では活動が定着しない」「一同に会するイベントが難しい」、「若い人はオンラインで意見交換が可能だが、高齢者は難しく情報伝達に課題がある」、「対面が難しい中、町内の問題や防災についてどう進めていくか」、などが挙げられました。

アンケート配布 65自治会 回収 36自治会 回収率 55.4%です。

## Q1 自治会長の任期は？

- ・1年の輪番制：25自治会
- ・ずっと同じ方：5自治会

## Q2 コロナ禍での自治会活動の変化は？

- ・活動休止：6自治会
- ・一部の活動だけ：23自治会

## Q3 コロナ禍で自治会内の変化や影響はありましたか？

- 「感染を気にして声掛けできない」
- 「近所づきあいを避けている人が多い」
- 「コロナを気にする人、気にしない人の差が大きい」
- 「近所づきあいが難しくなった」
- 「住民の変化に気づきにくくなった」等々



## ☆「市長と語る会」にて

先日、府中市の高野市長と懇談する機会がありました。参加者からは地域の様々な課題があげられましたが、自治会の問題もあがりました。自治会活動の停滞、加入率の低下は府中市も課題ととらえています。コロナ禍で中止されていた回覧板が、この7月から月1回、強制ではありませんが再開されました。手渡して回覧板を回すことはまだできないかもしれませんが、高齢者にとっては地域の情報を得ることができ、回覧板で地域の人々をつながるきっかけにもなります。

地域での見守り機能、防災の観点等から自治会活動をできることから少しずつ再開させていくことが必要ではないかと思えます。こうした地域の課題を府中市へ伝えていくこと、地域の皆さんと課題解決に向け一緒に考えることも地域包括支援センターの役割です。

